

付録. カワヒバリガイアンケート用紙

防除を実施するに当たって重要なことは、自治体の担当者（農林水産担当だけでなく、自然環境担当や保健衛生担当も含む）や地域住民が、カワヒバリガイの生態特性に加え、カワヒバリガイが定着した場合に、どのような被害が発生するのかといったチェックポイントをよく知り、警戒心を持つことである。

○ 問題認識の共有

- ・ カワヒバリガイによる被害の重大性
- ・ 防除の必要性、早期発見・早期対応の重要性、生息情報の収集
- ・ 被害や種の見分け方等、侵入を確認する方法
- ・ カワヒバリガイの生息情報の提供の呼びかけ、防除への理解促進
- ・ 防除の目的、内容
- ・ 最新の生息情報や防除結果
- ・ 防除への参加・協力、研修会への参加呼びかけ
- ・ 防除方法のアイデア周知

カワヒバリガイアンケート用紙（例）

お名前 _____ ご職業 _____

連絡先 _____

質問－１ あなたのお住まいの地域で、カワヒバリガイを発見したことがありますか。

① あ る ② な い

質問－２ 質問－１で、発見したことがあると回答した方にお聞きします。
どこで発見しましたか。具体的な場所をご記入ください。

記入例) 住所 〇〇町△△字×丁目 施設の名称等 ☆☆用水路

住所	施設の名称等

質問－３　発見したのはいつ頃ですか。

平成 年 月 日頃

質問－４ カワヒバリガイは、発見した場所で現在も生息していますか。

①まだ生息している ②発見時点では生きていたが、現在は死体となっている
③発見時点で死体だった。
④その他（ ）

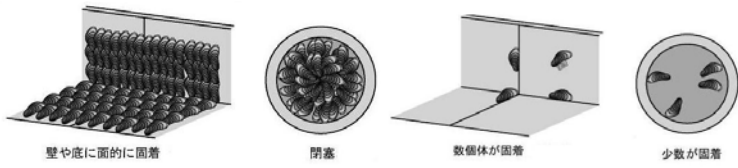
ご協力ありがとうございました。

カワヒバリガイアンケートに関するお問い合わせ先
 ○○県××町□□
 TEL ***-***-***
 FAX ***-***-***
 ○○土地改良区○○課
 担当 ○○

調査機関名：

調査者名：

カワヒバリガイ被害状況確認カルテ

対象施設名		
対象施設の地先、住所、概略模式図		
対象施設のうち、具体の繁殖箇所・状況 (付着面の材質、明暗の別)		(※具体的な状況について記入ください。)
確認年月日		平成 年 月 日
過去または周辺におけるカワヒバリガイの被害状況		☐ 同一水域内で発生あり ☐ 周辺水域で発生あり ☐ 発生なし
具体的な発生事象と被害の把握方法、程度	貝が付着、貝が詰まる	☐ 壁面一面に付着・管内全面閉塞 ☐ 壁面に付着・管内に付着が見られる  壁や底に面的に固着 閉塞 数個体が固着 少数が固着
	流量の変化	☐ 流量に半分以上の増減あり ☐ 流量に多少の変化あり ☐ 変化なし
	圧力差	☐ 管水路内の圧力計に圧力差が発生 ☐ 圧力変化はみられない
	水位差	☐ 水槽内のスクリーン前後で水位差が発生 ☐ 水位差はみられない
	悪臭等、その他	☐ 死貝による悪臭が発生 ☐ 悪臭はない ☐ 死貝はみられない ☐ その他()
	発生の具体的な状況 施設等への影響・被害の内容	(※具体的な状況について記入ください。)
水路系の特徴	流入水系名 (支川名・脈水名まで)	
	基幹取水施設名称・位置、当該対象施設からの概ねの距離	
	基幹排水施設名称・位置、当該対象施設からの概ねの距離	
	流出水系名 (支川名・脈水名まで)	
用水の運用状況		☐ 通年通水 ☐ かんがい期のみ(月～ 月まで)
被害対策の有無、具体的な対策の内容 (掛かりまし労力や経費等を含む)		(※具体的な状況について記入ください。)

カワヒバリガイ被害状況確認カルテ 記入例1

対象施設名	〇〇幹線用水路
対象施設の地先、住所、概略模式図	
対象施設のうち、具体的繁殖箇所・状況 (付着面の材質、明暗の別)	(※具体的な状況について記入ください。) 〇〇高校付近、1kmにわたり水路一面に固着 〇〇用水路:建設年昭和45年 開水路 コンクリート三面張り W2.5m×H2m 建設後特に補修等は実施していない。40年以上を経過し、表面は摩耗による凹凸あ
確認年月日	平成24年 〇月 〇日
過去または周辺におけるカワヒバリガイの被害状況	☒ 同一水域内で発生あり ☐ 周辺水域で発生あり ☐ 発生なし
具体的な発生事象と被害の把握方法、程度	貝が付着、貝が詰まる ☒ 壁面一面に付着・管内全面閉塞 ☐ 壁面に付着・管内に付着が見られる
	流量の変化 ☐ 流量に半分以上の増減あり ☒ 流量に多少の変化あり ☐ 変化なし
	圧力差 ☐ 管水路内の圧力計に圧力差が発生 ☐ 圧力変化はみられない
	水位差 ☐ 水槽内のスクリーン前後で水位差が発生 ☒ 水位差はみられない
	悪臭等、その他 ☒ 死貝による悪臭が発生 ☐ 悪臭はない ☐ 死貝はみられない ☐ その他()
	発生の具体的な状況 施設等への影響・被害の内容 (※具体的な状況について記入ください。) 〇〇高校付近、1kmにわたり水路一面(両側)にカワヒバリガイが固着。貝長1～2cmのものが厚さ2～3cmで固着。付近住民から死貝による悪臭の苦情あり。また、用水の流れを阻害。(被害状況写真参考)
水路系の特徴	流入水系名 (支川名・脈水名まで) ●●水系 一級河川●●川 一級河川××川 二級河川 〇〇川
	基幹取水施設名称・位置、当該対象施設からの概ねの距離 〇〇頭首工:〇〇県△△町〇〇地先 被害箇所までの距離:約10km
	基幹排水施設名称・位置、当該対象施設からの概ねの距離 〇〇排水路:〇〇県〇〇市 被害箇所から15km △△排水路:〇〇県△△町 被害箇所から5km
	流出水系名 (支川名・脈水名まで) 〇川水系 一級河川〇×川 一級河川××川
用水の運用状況	☐ 通年通水 ☒ かんがい期のみ(4月～ 10月まで)
被害対策の有無、具体的な対策の内容 (掛かりまし労力や経費等を含む)	(※具体的な状況について記入ください。) 非かんがい期に用水路を落水し、小型バックホーを水路に入れ壁面の貝をかきとり。 作業期間〇月〇日～〇日2日間(作業状況は別添写真参考) 使用機材:小型バックホー1台×2日 100,000円、トラック1台×2日 70,000円、作業員数:5人(2日間) 120,000円 貝処分費:45,000円 その他諸経費:24,000円

カワヒバリガイ被害状況確認カルテ 記入例2

対象施設名	〇〇機場
対象施設の地先、住所、概略模式図	〇〇県〇〇町〇〇地先
対象施設のうち、具体的繁殖箇所・状況 (付着面の材質、明暗の別)	調整水槽壁面のくぼみに数個生息を確認 〇〇機場:建設年昭和40年 調整水槽 コンクリート三面張り 縦10m×横15m×高3m 最大揚水量 5m³/s 平成10年にポンプ補修。調整水槽は建設当時のままで、表面にくぼみやクラックあり。
確認年月日	平成24年 〇月 〇日
過去または周辺におけるカワヒバリガイの被害状況	☐同一水域内で発生あり ☐周辺水域で発生あり ☒発生なし
具体的な発生事象と被害の把握方法、程度	貝が付着、貝が詰まる ☐壁面一面に付着・管内全面閉塞 ☒壁面に付着・管内に付着が見られる ※施設内に数個程度の生息確認
	流量の変化 ☐流量に半分以上の増減あり ☐流量に多少の変化あり ☒変化なし
	圧力差 ☐管水路内の圧力計に圧力差が発生 ☒圧力変化はみられない
	水位差 ☐水槽内のスクリーン前後で水位差が発生 ☒水位差はみられない
	悪臭等、その他 ☐死貝による悪臭が発生 ☒悪臭はない ☒死貝はみられない ☐その他()
	発生の具体的な状況 施設等への影響・被害の内容 施設内に堆積した土砂を撤去する際に、調整水槽の壁面のくぼみに、数個のカワヒバリガイを確認。貝長1～2cm。その他の施設には、目視で生息が確認できない。通水阻害等の被害はない。(別添写真参考)
水路系の特徴	流入水系名 (支川名・脈水名まで) ●●水系 一級河川●●川 一級河川××川 二級河川 〇〇川
	基幹取水施設名称・位置、当該対象施設からの概ねの距離 当該施設(〇〇機場)
	基幹排水施設名称・位置、当該対象施設からの概ねの距離 △〇排水機場:〇〇県〇〇市△〇地先 被害箇所から15km
	流出水系名 (支川名・脈水名まで) □□川水系 一級河川□□川 一級河川□□川
用水の運用状況	☒通年通水 ☐かんがい期のみ(月～ 月まで)
被害対策の有無、具体的な対策の内容 (掛かりまし労力や経費等を含む)	生息していたカワヒバリガイを取り除き、敷地内に廃棄。 次回の土砂撤去の際に、施設内の生息状況を目視で確認予定。また、下流の水路等についても見回りの際に生息状況を確認予定。

(様式第 1 -A)

飼養等許可申請書（新規／許可内容変更）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成 16 年法律第 78 号）第 5 条の規定により特定外来生物の飼養等の許可を受けたく、次のとおり申請します。

平成 年 月 日

殿
殿

申請者の住所：

氏名：

印

電話番号：

職業：

（法人にあっては、主たる事務所の所在地及び名称、電話番号
代表者の氏名（記名押印又は代表者の署名）を記入する）

1.申請の種類	☐ 新規 ☐ 許可内容変更（許可番号[] 許可の有効期間[平成 年 月 日まで]		
2.申請に係る特定外来生物	1)種類		
	2)飼養等しようとする数量(単位)		
3.飼養等の目的	☐ 学術研究 / ☐ 展示 / ☐ 教育 / ☐ 生業の維持 ☐ 特定外来生物の指定の際現に飼養等をしている個体の愛がん又は観賞 ☐ その他（具体的に：)		
4.特定飼養等施設	1)所在地		
	2)規模		
	3)構造		
5.主たる飼養等取扱者	1)飼養等取扱者 ☐ 申請者（法人の場合はその職員を含む） ☐ 申請者以外（申請者以外の場合は 2)～4)を記入）		
	2)氏名（法人の場合は名称及び代表者の指名）	4)職業	
	3)住所（法人の場合は主たる事業所の所在地）		
6.飼養等管理体制	1)施設の点検方法、点検頻度		
	2)飼養等が困難になった場合の措置		
	3)特定外来生物の運搬の有無	☐ 有り（運搬目的) ☐ 無し （有りの場合は移動用施設の図及び写真も添付する）	
7.現在の飼養等の状況	飼養等をしている数量(単位)		
8.添付資料	☐ ①施設の図面 ☐ ②敷地内における施設の位置図 ☐ ③縮尺 1:5,000 以上の概況図 ☐ ④施設の写真 ☐ ⑤飼養等をする目的を説明する資料 ☐ ⑥その他 ()		
9.施行規則第 6 条第 3 号から第 5 号に該当しないことの証明	☐ 私（法人の場合：当法人及び法人の役員）は、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律施行規則第 6 条第 3 号から第 5 号までに該当しない者です。		
10.備考			
担当者連絡先 （申請者以外に本申請に係る担当者がある場合に記入）	氏名	所属・役職	
	住所		
	電話番号	電子メールアドレス	